

群馬県立女子大学 FLRI Newsletter

Foreign Language Research Institute

外国語教育研究所だより

Vol.31 2017.10.24

グローバル人材育成事業「明石塾」

明石塾入塾式

8月5日、明石塾16期生の入塾式が本学で行われました。今年度から塾長に就任した本学の濱口富士雄学長は、式辞で元国連事務次長明石康氏が明石塾を創設した理念と卒塾生の活躍ぶりを紹介し、「明石塾の目的である国際的な視野と国際舞台で堂々と発言し、行動できる素地をしっかりと身につけるように心がけ、また将来的にも常に国際情勢、日本の状況を見据え、多文化理解をみなさん自身の思考と行動の原理とされていくことを期待します」と述べました。式の最後には、塾生を代表して前橋女子高校1年田村杏南さんが「コミュニケーション能力や多様な価値観を身につける努力をし、世界や日本に関する知識を広げるとともに、高い志を持った仲間と知り合い、自分自身の考えを深めることで物事を多角的に捉える力を伸ばしていきたいです」と決意を述べました。

〈明石塾年間予定〉

8月～3月

- ・国際情勢・多文化理解に関する講義・ワークショップ
- ・英語研修(35時間)
- ・フィールドワーク(県内及び県外)

1月

海外研修(マレーシア・シンガポール)

3月

研修成果発表会・修了式



代表あいさつをする田村杏南さん(前橋女子高校)



濱口塾長と懇談する塾生達

研修報告(8月～9月)

明石塾では次のとおり研修を行いました。英語研修は研究所の外国人研究員が行い、講義は本学の先生方にご協力頂きました。

日付	午前 10:00～12:30	午後 13:30～16:00
8月7日(月)	講義①『顔』の認知とコミュニケーション 甲村美帆教授(国際コミュニケーション学部)	講義②「コトバは世界を捉える」 清水啓子准教授(文学部英米文化学科)
8月8日(火)	英語研修1・2 Class building / Get to know you activities	講義③「Why do people build towns and cities?」 M.R.フライヤーミュージス教授、吉村敬子講師 (国際コミュニケーション学部)
8月9日(水)	英語研修3・4 Non-verbal Communication	英語研修5・6 What is Culture?
8月10日(木)	英語研修7・8 Appearance and Stereotypes	講義④「日本美術の作品と歴史の発信」 三宅秀和講師(文学部美学美術史学科)
8月11日(金)	英語研修9・10 What is "Japaneseness"?	講義⑤「論理パズルとP=NP問題」 黒田寛准教授(文学部総合教養学科)
8月12日(土)	英語研修11・12 Immigration	講義⑥「上毛カルタで見直す群馬の姿」 熊倉浩靖教授(群馬学センター)
8月24日(木)	県内フィールドワーク(サンデングローバルセンター、赤城フォレスト)	
9月2日(土)	英語研修13・14(公開授業) Population Growth	夏休み研修まとめ、テーマ討論① 「コミュニケーションについて」
9月30日(土)	東京フィールドワーク(グローバルフェスタ、東京ジャーミイ)	



英語研修



英語でスピーチをする塾生

講義の感想（塾生のレポート抜粋）

「論理パズルとP=NP問題」

題名を見たとき、数学が苦手な私は不安を感じたが、受講後はおもしろいなという感覚が芽生えていた。講義の前半ではややこしい文の解読をしたが、答えを一つに導き出せることやグラフと組み合わせて学ぶことができるなど、なるほどと思う部分があった。言葉を記号に置き換えて理解することは高校の数学で使われている原理なので文を簡略にまとめる大切さも学ぶことができた。先生がホワイトボードに書いて丁寧に説明をしてくれたり、画用紙やカードを使用した体験型の講義であったため、より深く理解することができた。先生は講義の中で一つの意味を持つものをさまざまな形式で表現できるとおっしゃっていた。私たちの日常会話でも、このような場面が多くあることに気づき、言葉による表現の多様性を知ることができた。



講義⑤ 論理パズルと P=NP 問題



講義⑥ 上毛カルタで見直す群馬の姿

「上毛カルタで見直す群馬の姿」

普段、多文化理解に目を向けがちで自分の身近な地域について学ぶ機会がなかったので初めて知ることばかりだった。富岡製糸場について、なぜ世界遺産に登録されたのか分からなかったが、富岡製糸場の優れた労働環境が女性の社会進出を促したことに驚いた。生糸を輸送するために日本で3番目に鉄道が群馬に敷かれ、富岡製糸場があらゆる発展に繋がっていたことを知った。温泉についても、群馬の草津や伊香保が全国的に高い評価を受けていることに驚き、群馬の誇れる魅力であることを知り、嬉しかった。また、湯もみや時間湯などで温泉に空気が触れるようにしたり、人が入ることによって温泉の温度を下げるという工夫は昔の人の知恵が感じられ、次の世代に伝えていくべきだと思った。

「県内フィールドワーク（サンデングローバルセンター）」

サンデンの今泉さんの「自分の『強み』を生かしてチャンスをつかむ」という講義を受けて、自分の「強み」は何かということを考えてみました。23か国54拠点に海外支店があるグローバル企業、サンデンで初の女性駐在員としてイギリスに派遣された話では、自分の「弱み」を「強み」とする他のメンバーに任せて協力して物事を進めることの重要性を学びました。仕事もスポーツと同じくその人のポジションがあり、その役割を果たすことでチームに貢献し、一人一人が自分の「強み」を生かすことがチーム全体のパワーアップに繋がることを学びました。そして自分の弱みを底上げするよりも誰にも負けないくらい強みを伸ばした方がいいという言葉聞いて、気持ちが軽くなりました。不得意教科の底上げに全ての時間を費やすのではなく、得意教科を伸ばすことに使えばもっと時間を有効活用できると思ったので、勉強の時間配分にも生かしたいです。また、今泉さんは外国の営業部の方と話す際に信頼関係の構築と正確な意思疎通に注意しているとおっしゃっていました。私自身も信頼関係を築くために約束事や期日を守るように心がけたいです。いつか自分のチャンスが巡ってきたとき、それを生かせるように、その「いつか」の準備を今から始めていこうと思いました。



県内フィールドワーク サンデングローバルセンター

留学支援事業

本学の海外留学支援プログラムでは留学情報の提供及び諸手続についての個別相談など海外留学を希望する学生をサポートし、費用の一部を対象に奨励金を支給しています。プログラムを利用して留学を行う学生は、群馬県観光親善学生大使に委嘱され、留学先の大学などで群馬県の自然、文化、産業などの魅力をPRする活動を行っています。今回はその活動を紹介します。

平成29年度群馬県観光親善学生大使研修会(6月7日)

今回、夏季短期海外研修参加者 18 名、夏以降出発の長期留学参加者 21 名が研修を受けました。群馬県観光講座として本学群馬学センター松浦利隆教授より、「富岡製糸場と絹産業遺産群」についての講義を受け、学生は熱心に耳を傾けていました。また、外国人研究員から英語で有効なプレゼンをするためのポイントを学びました。学生は今日学んだことを研修先で生かすとともに、本学の法被や「上毛かるた」の英語版などを持参し、PR 活動を行います。



松浦利隆教授の群馬県観光講座



「上毛かるた」を楽しむ学生

平成29年度群馬県観光親善学生大使委嘱状交付式(7月19日)

群馬県観光親善学生大使委嘱状交付式が行われました。濱口学長は、「群馬を紹介することによって自ら情報を発信し、大学では習得できない異文化を学ぶ機会にしてほしい」と激励しました。学生代表の国際コミュニケーション学部2年増田実佳子さんは、自身が2年前にインドから群馬に移住した視点から、「海外の人が興味を持つ温泉が群馬にたくさんあることを紹介し、一人でも多くの人が群馬に観光に来てくれるように活動したい」と述べました。



代表あいさつをする増田実佳子さん

群馬県観光親善学生大使活動報告

H28.8～H29.1 マラヤ大学 (マレーシア) 国際コミュニケーション学部 T.K.

群馬県の名前を知っている人はほとんどいなかったが、東京からのアクセスが良いことに魅力を感じている人が多かった。日本の夏祭りに興味を持つ人が多く、高崎まつりや鬼石祭りの写真や動画を見せたところ、夏祭りの雰囲気や食べ物、浴衣に非常に興味を示してくれた。夏祭りは日本のアニメやドラマ、映画などでたびたび使われるため認知度が高い。留学生の多くはスマートフォンやカメラできれいな写真を撮ることができる観光地を好む傾向があるので、花火大会に行きたいという留学生が多かった。東京からのアクセスの良さを活かして県内の夏祭りを外国人観光客にさらにアピールすれば、群馬県に来る観光客を増やせると実感した。



群馬の説明を聞くマラヤ大学の留学生

H29.2～H29.3 ディーキン大学附属英語学校 (オーストラリア) 文学部英米文化学科 S.A.

多くの方が群馬県の観光名所である温泉や富岡製糸場、群馬サファリパークや群馬フラワーパークなどに関心を持ち、数多くの質問をしてくれた。選択クイズでは寿司、たこ焼きなどの選択肢から焼きまんじゅうを当てる問題やピカチュウ、アンパンマン、ドラえもんなどからぐんまちゃんを答えさせる問題を実施した。プレゼンテーション終了後には「とても見応えのある面白い紹介だった」、「日本に行ったらぜひ群馬県に行ってみよう」という有り難い言葉を学生や先生からも頂いた。



群馬クイズに参加しているディーキン大学の学生達

高等学校連携英語授業

研究所では外国人研究員による英語モデル授業を実施しています。年3回にわたって論理的に英語を使ってプレゼンテーションができる力をつけることを目指し、アクティヴ・ラーニングの手法を取り入れた授業を実践しています。今年度は高崎経済大学附属高校、伊勢崎高校、沼田女子高校と連携しています。高崎経済大学附属高校については7月までに3回実施し、「留学するべきかどうか」など身近なテーマについてディベート形式でプレゼンテーションを行いました。また、学校個別の英語授業支援も行っています。高崎女子高校の「グローバル・リーダー養成ワークショップ」において、研究員が生徒と「外国人差別」についてディスカッションを行い、高崎高校では研究員がディベート講習を行いました。

高大連携英語教育事業についてのお問い合わせは研究所までご連絡ください。



高崎経済大学附属高校



高崎女子高校



沼田女子高校



伊勢崎高校



高崎高校

県民英会話サロン「グローバルカフェ」

今年度第1期のグローバルカフェは5月18日より7月20日まで毎週木曜日に高崎市総合福祉センターで計10回実施され、毎回約60人の県民の方が参加しました。毎回設定されたトピックについて幅広い年齢層の方々が自由に英会話を楽しみました。

第2期グローバルカフェを以下のとおり開催します。事前の予約は必要ありません。ご希望の方は開催日に直接会場までお越しください。小中学校や高校の英語指導助手の方もぜひご参加下さい。

日 時：9月28日(木)～12月21日(木)の毎週木曜日(但し、11月23日は除く)
18時15分～19時45分(全12回)

場 所：群馬県立女子大学 新館 6F

参加費：無料

お知らせ

次の行事に参加を希望される方はメールにて群馬県立女子大学外国語教育研究所 (fri-one@pref.gunma.lg.jp) へお申し込みください。なお、詳細については本学ホームページをご覧ください。

○明石塾公開

以下の日程で明石塾を公開します。

日時：平成 29年11月18日(土) 午前の部10時～12時半、午後の部13時半～15時半

場所：群馬県立女子大学 新館 6階研修室

内容：午前▶英語研修

午後▶講義 講師：根橋 玲子氏(明治大学情報コミュニケーション学部教授)

演題：「他者イメージと異文化理解」

○英語教育講演会

県内の小学校、中学校、高等学校及び大学の先生方に対して、英語教育における小中高大の連携について、その方策を具体的に考え、模索する機会を設けるため、英語教育講演会を開催します。

日時：平成 29年12月16日(土) 13時半～15時半

場所：群馬県立女子大学 新館 6階研修室

講師：加藤 由美子氏(ベネッセ教育総合研究所 グローバル教育室長)

演題：「英語教育カリキュラムの小中高大連携を考える

～英語力を伸ばしている学校の研究と英語学習・指導の量的・質的調査結果から～

発 行：群馬県立女子大学外国語教育研究所

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

TEL：0270-65-8511(代) FAX：0270-65-9538 URL：http://www.gpwu.ac.jp/